

総合科学技術会議の今後の検討課題について

平成 25 年 3 月 1 日

青 木 玲 子

内 山 田 竹 志

大 西 隆

久 間 和 生

中 鉢 良 治

橋 本 和 仁

原 山 優 子

平 野 俊 夫

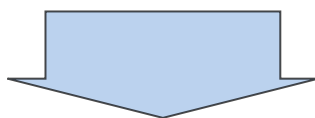
1. 科学技術イノベーションの役割への期待

科学技術イノベーションが今日社会的にどのように捉えられ、何を期待されているのか。総合科学技術会議において議論を開始するに当たって、問題意識を共有すべきである。

(1) 中長期的に我が国を取り巻く社会経済環境に厳しさが増し、国民の間に閉塞感・先行き不透明感が強まる傾向。

社会・経済の発展と繁栄、国民生活の安全・安心・安定、明るい未来への夢や展望を、次世代に本当に引き継ぐことができるのか。戦後最大最大の危機なのではないか。今こそが正念場。

…経済の潜在的成長力の低下、国際的地位の相対的後退、財政状況の悪化、国民生活の維持・向上への先行き不安、グローバルな課題の高まり(地球環境、資源エネルギー、国際社会平和等) 他



科学技術イノベーション政策の全体像、課題解決型戦略パッケージが必要不可欠。

- ・将来のあるべき社会・経済の姿とは何か。
- ・その実現のために克服すべき課題は何か。
- ・その課題に対し、科学技術イノベーションは何が貢献できるのか。

(2) 科学技術イノベーションは、人類の進歩への貢献、最先端の‘知’の領域の開拓、経済成長への寄与、国民生活の利便性・生活水準の向上など、様々な目的・役割を担うものであるが、上記(1)のような我が国が今日直面している社会経済上の艱難に鑑み、その解決に向けて、科学技術イノベーションが持つ潜在力を集中してフルに発揮することにより、この難局を打破して経済の持続的発展のためのフロンティアを切り拓き、危機感を払拭すべきである。「今年が、経済再生元年である。」

2. 科学技術イノベーション政策のあり方

科学技術イノベーション政策を推進するに当たっては、以下の 6 原則に則して実行することが必要である。

(1) 時間軸と目標を常に意識した戦略を持つこと

－「どの時点でどのような社会を実現するのか」、「そのために誰が何をいつまでに実行し、どのような成果を上げるのか」を具体的に示し、実行すべきである。

(2) 科学技術イノベーション全体を見据えた包括的な政策運営を行うこと

－「木を見て森を見ない」研究開発政策とならないよう、全体を見渡し、何を重点的に推進すべきかを優先順位を付けて戦略的に決定すべきである。

(3) 川上から川下までの研究開発段階をカバーした一貫通貫の政策とすること

－従来のように「基礎研究から応用研究、実用化」までの技術研究開発段階だけでなく、その川上・川下段階をも含め、「高等教育・研究者育成、基礎研究から応用研究、実用化・産業化、普及・市場展開」までの範囲をカバーした一貫通貫の政策運営を行うべきである。

(4) 担い手の役割分担を明示しつつ、産学官が連携すること

－産学官が科学技術イノベーションの担い手として、それぞれの役割を分担しながら連携を取るべきである。政府については、責任省庁を明示しながら府省連携を図り、省庁間の壁を打破すべきである。

(5) 様々な政策手段の間で連携を取り、組み合わせること

－予算・税制、金融、システム改革(規制改革等)など、様々な政策手段の間で連携を取り、組み合わせることで、より効果的かつ効率的に政策運営すべきである。政策策定過程においては、規制改革会議、経済財政諮問会議、産業競争力会議等とも連携すべきである。

(6) 予算と直結した年間の PDCA プロセスにより、施策の評価・見直しを行うこと

－施策の評価を定期的実施し、実施の有無のみならず成果目標をどの程度達成したかも含めて評価し、必要な見直しを常に行うべきである。

3. 本年前半に取り組むべき項目

科学技術イノベーション政策を強力に推進するとともに、総合科学技術会議の司令塔機能の強化を図るために、総合科学技術会議において、以下の 3 点について、本年半ばまでに集中的に審議を行い、結果を取りまとめるべきである。

(1) 科学技術イノベーション総合戦略（仮称）の策定

科学技術イノベーション政策の包括的パッケージを策定すべきである。具体的には、科学技術イノベーション政策の全体像（あるべき姿、政策課題、成果目標）を課題解決志向の長期ビジョンとして持つとともに、その実現に向けて実行していく政策を工程表に取りまとめた、短期の行動プログラムを持つ戦略を策定すべきである。

(2) 成長戦略策定への参画

安倍内閣として6月を目途に策定する成長戦略の策定作業に、総合科学技術会議として参画すべきである。具体的には、(1)の作業を行う中で、経済再生担当大臣が策定を表明した「戦略市場創造プラン」に「戦略目標」として掲げられている、

- ・「国民の「健康寿命」の延伸」
- ・「クリーンかつ経済的なエネルギー需給の実現」
- ・「安全・便利で経済的な次世代インフラの構築」
- ・「世界を惹きつける地域資源で稼ぐ」

の4分野について、科学技術イノベーションの観点から、取り組むべき政策を検討し、日本経済再生本部に対して提言すべきである。

(3) 総合科学技術会議の具体的な機能強化策の検討

総合科学技術会議のイニシャティヴの下に、科学技術イノベーション政策の推進体制を充実させ、より実効あるものとするための具体的手段として、以下の方策を検討すべきである。

- ・権限の強化
- ・事務局の強化
- ・予算システム・運用の大胆な改革
- ・次世代の重要国家プロジェクト